



シーダ・ウォーカー



時事寸考

シーダ・ウォーク施設長、医師の吉田です。2月24日ロシア軍の侵攻で始まったウクライナ戦争はいまだ終わる目途が立っていませんが、ジャベリンとかハイマースといった新兵器が実戦で使われています。といってもやはり目立つのは両軍でさかんに使われているドローンでしょう。ドローンといっても様々な種類があって、偵察に使われたり爆弾を落としたりしているようですが軍事以外の用途ももちろんあります。



ダスキンは大手の清掃業者ですが害虫獣駆除も手掛けていて、スズメバチ駆除にも力を入れているようです。従来、写真【左】のように防護

服を着た作業員が殺虫剤を撒きながら巣を壊していましたが、写真【右】のような対スズメバチドローンを開発しました。同社の発表は以下のとおりです。



…蜂を駆除するサービスで飛行ロボット(ドローン)の活用を2023年10月以降に始

める。ドローンに取り付けた吸引器で蜂を吸い込み、ドリルで巣を破壊する方式。高所にできた蜂の巣は作業員の安全確保のため、駆除サービスを受けられないケースがあった。また殺虫剤を空中で散布しないため、環境配慮型の駆除方式である点も訴求する。

栄養科より今月の一押しメニュー



12月24日(土)クリスマスイブの夕食にはクリームシチューやクリスマスデザートをご用意します。おやつはショートケーキです。また、12月22日(木)冬至には南瓜の煮物を予定しています。冬至には「ん」がつくものを食べ

ると運がよくなるといういわれもあります。南瓜(なんきん=かぼちゃ)にはビタミンA(β カロチン)をはじめ、多くの栄養素が含まれています。しっかり食事を取り元気にお過ごしください!



シーダ・ウォークは高齢者とご家族を支援する施設です。

- 入所 ①ロングステイ: 1か月～
②ショートステイ: 1週間程度
- 通所リハビリテーション(デイケア)

介護老人保健施設 シーダ・ウォーク

杉並区桃井3-4-9(荻窪消防署 隣) TEL 03-5311-6262

シーダ・ウォーカー 法律相談

結婚に関するルールの変更について

私が中学生だったころ、社会科の授業で結婚できる年齢について習った覚えがあります。当時は女性は16歳以上、男性は18歳以上でした。なぜ男女で年齢が違うのだろうと思った覚えがあります(諸説ありますが、女性の結婚可能年齢が男性よりも若かったのは、16歳・17歳で出産をしたような場合、法律上の結婚を可能にすることで、女性と子の生活を保護するためであったといわれています)。そして、当時は20歳未満の人(16歳から19歳)が結婚する場合には、親の承諾も必要とされていました。

このような結婚のルールが今年の4月から変更されました。成人の年齢が20歳から18歳に引き下げされたのに伴い、男女ともに18歳以上であれば結婚ができるようになりました。また、かつては、20歳未満の人が結婚をする場合には親の同意が必要でしたが、18歳、19歳で結婚をする場合でも親の同意は不要となりました。この点では、18歳、19歳の人は結婚をしやすくなったといえます。



では、結婚をすると何が変わのでしょうか。法的には、次のような義務が発生します。

まず、夫婦として同居し、協力し、経済的にも支え合う義務が生じます。具体的には、婚姻後に蓄えた財産については原則として夫婦の共有財産として扱われます。また、日常的な買い物については、互いに代理ができるようになります。どういうことかといいますと、たとえば夫がインターネットのスーパーで食料品の買い物をしたけれども支払をしていなかったような場合には、夫だけでなく、妻も連帯してお店に代金を支払う義務を負うことになります。

次に、子が生まれた場合には子を養育する義務が生じます。たとえ夫婦が離婚したとしても、子の養育に対する義務は両親ともに負い続けます。

そして、結婚後に配偶者が死亡した場合には相続人となります。現在の法制度では、内縁の場合には法定相続人の資格は生じません。法律上の結婚と内縁ではこの点で大きく異なります。

桜丘法律事務所 弁護士 小堀 惇

(電話) 03-3780-0991 (WEB) <http://www.sakuragaoka.gr.jp>

2022年11月25日発行 vol.185 発行責任者: 吉田晴彦
編集責任者: 落合直樹 発行: 社会医療法人河北医療財団
介護老人保健施設シーダ・ウォーク
〒167-0034 東京都杉並区桃井3-4-9
TEL 03-5311-6262(代) FAX 03-5311-6180
<https://kawakita.or.jp/suginami-area/cedar/>



アニマルセラピー

公益社団法人日本動物病院協会から、アニマルセラピーのために訓練された犬たちが訪問してくれます。寄り添う犬たちをなでたり、小さな犬を膝にのせたり。動物と触れ合うことで、ご利用者にいつもと違う笑顔が見られます。

With コロナ

シード・ウォークのレクリエーション活動

新型コロナウイルスの対策を始めてから3回目の冬がやってきます。一度は全面的に停止した様々なレクリエーションも感染対策をしながら少しずつ活動を再開しています。

シード名物！ デイケアのレク

デイケアのスタッフはアイデアマンの集まり！思わず身を乗り出して参加してしまうオリジナルのゲームやイベントで、いつも大きな歓声が上がっています。

たわく
惜し
かつ

えいっ!!

残念

あう



屋上で育てている
レモンの木に実がなりました。この日は収穫してレモンティを楽しみました。



フロアごとに工夫しています
3Fのレモンティー



フラワー
アレンジメント

ご自分の作品と一緒に記念撮影。
※撮影時のみマスクを外しています

これから先も感染状況によって、活動を縮小したり、お休みしたりすることもあると思います。ご利用者の健康を第一に考えながら、皆さんが楽しんで生活していけるようにスタッフ一同、工夫しながら取り組んでいきたいと思っています。